

3 - 5 父島近海の地震活動 (1985年5月～11月)

Seismic Activity near the Chichijima (May - November, 1985)

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division

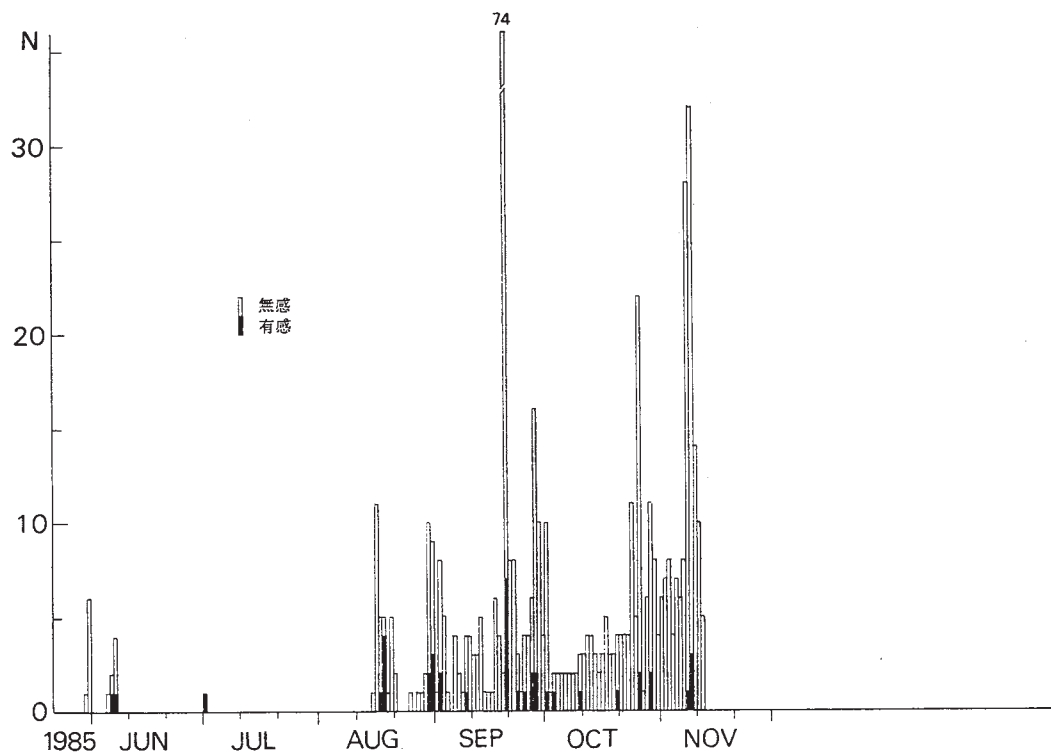
Japan Meteorological Agency

1985年5月30日ころより、父島の北方200kmほどの海域で地震が頻発し始めた。地震活動は6月上旬に一たんおさまったかにみえたが、8月中旬ころより再び起こり出し、9月20日、父島観測所の地震計には74回もの地震が記録された。10月に入ってからはやや少なくなったものの下旬から11月にかけて一段と活発化し、11月12日現在なお活動的である。この間、父島での有感地震回数は、11月9日03時40分の震度Ⅲを最大として、震度Ⅱ:14回、震度Ⅰ:29回の計44回となっている。

第1図は、父島観測所の61型地震計(倍率200倍)に記録された地震回数である。

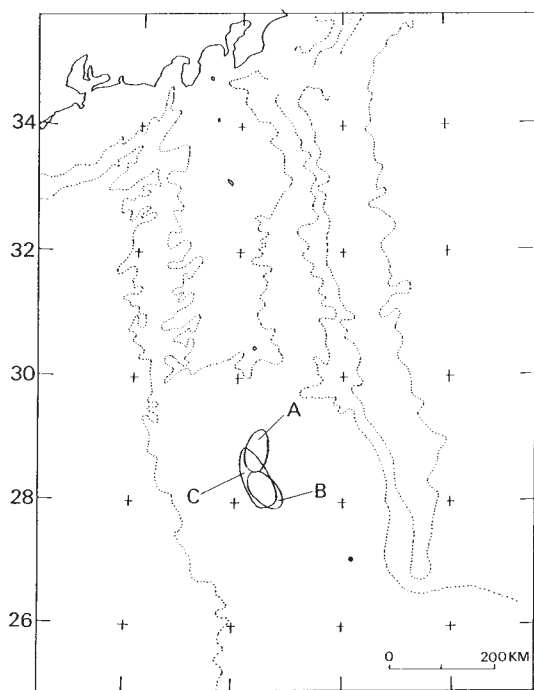
第2図に、USGSにより震源決定された今回の地震活動の期間別震源域を示した。Aは5月30日から7月1日まで、Bは8月15日から9月20日まで、Cは9月21日から11月12日までの震源域をあらわしている。また、第3図は同期間におけるS-P別回数であるが、この図からも各期間における地震活動の空間分布の違いが明らかである。なお、この海域および周辺域に起きた地震の、USGSと気象庁が決定した震源位置を比較すると、USGSの震央は、気象庁の震央より100kmあまり西に決まっている。

第4図は、5月30日より10月7日までの地震について、USGSが決定したマグニチュード(M_B)の累積度数分布である。 $M_B \geq 4.8$ の地震はほぼ震源決定されているようである。



第1図 父島観測所で観測された父島付近の地震の日別回数
(1985年5月30日～11月12日)

Fig. 1 Daily numbers of earthquakes near Chichijima observed at Chichijima from May 30 to November 12, 1985.



第2図 USGSによる父島付近の地震活動の震源域

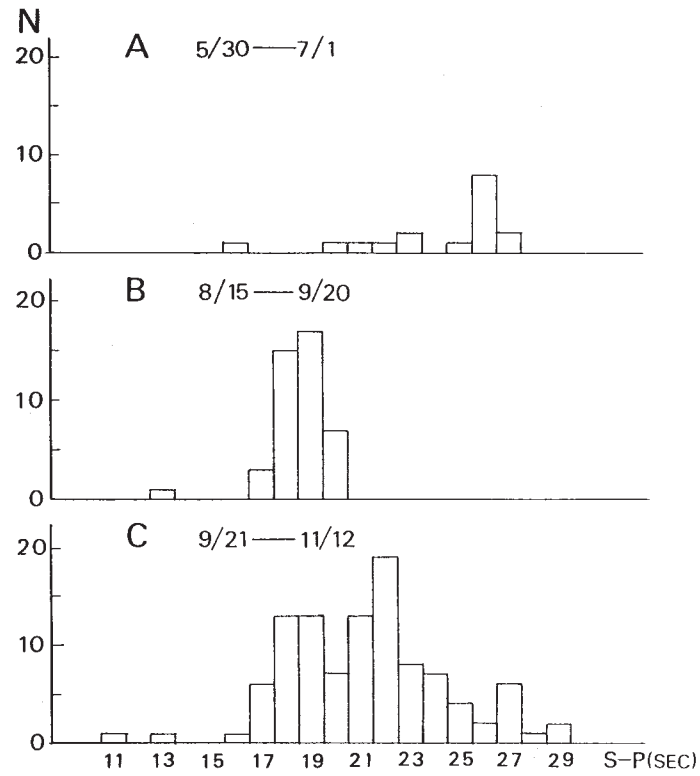
A : 5月30日～7月1日, B : 8月15日～9月20日, C : 9月21日～11月12日

Fig. 2 Distribution of hypocentral region for the seismic activity near the Chichijima by the USGS.

A: May 30 - July 1

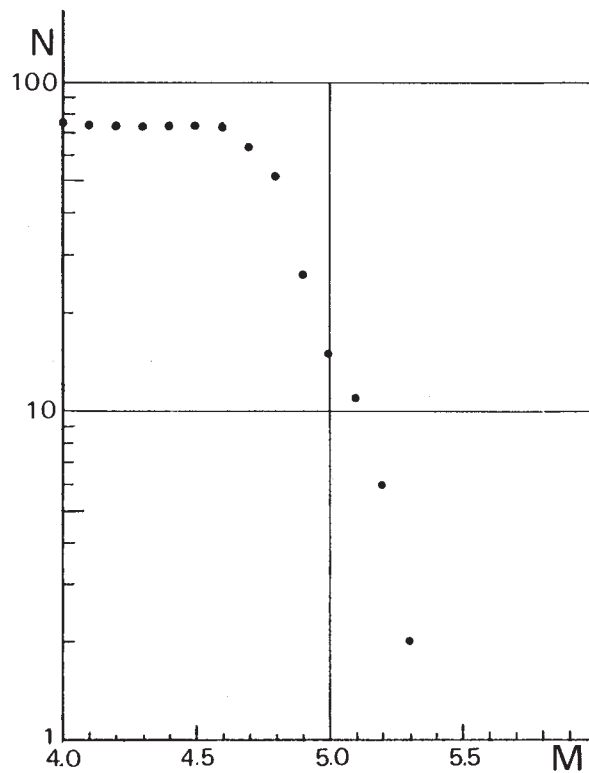
B: August 15 - September 20

C: September 21 - November 12



第3図 父島でのS-P別地震

Fig. 3 S-P distribution observed at Chichijima.



第4図 マグニチュードの累積度数分布 (USGS データによる)

Fig. 4 Cumulative frequency distribution of magnitude (USGS data).